

18歳以上の患者さま向け指導用資料のご案内

# インチュニブ®を 飲んでいらっしゃるみなさまへ



【監修】

国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 知的・発達障害研究部

部長 岡田 俊 先生

(監修いただいた際のご所属先とは異なります)

## 医療関係者の先生方へ

本資料は、18歳以上の患者さまを対象に、  
インチュニブ®の特徴や服薬時の注意点、安全性情報を簡潔に記載しています。  
インチュニブ®の服薬指導時に、本資料をお役立ていただければ幸いです。

18歳以上の患者のみなさま

# インチュニブ®を飲んでいるみなさまへ

## インチュニブ®はこんなお薬です

- **小児**(6歳から18歳未満)及び**成人**(18歳以上)のAD/HD治療薬で、「不注意」「多動性」「衝動性」の改善が期待されます。
- **1日1回**飲むお薬です。



### 【AD/HDとは】

- ・AD/HDとはAttention-Deficit/Hyperactivity Disorder(注意欠如・多動症)の略で、12歳になる前から、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力の障害、及び／又は多動性、衝動性が認められ、そのために社会的な活動や学業／職業の機能に支障をきたす状態をいいます。
- ・不注意や多動性、衝動性は、他の精神疾患によっても生じ得ますが、12歳になる前にAD/HD症状を認めない場合にはAD/HDと診断しません。一方、AD/HDには、うつ病、双極性障害、不安症などを高率に合併します。これらの精神疾患以外にAD/HDがあることを診断するためには、12歳になる前から症状が存在することを問診で確認します。

## インチュニブ®を飲む時に気を付けること

主治医の指示通りに飲むことが大切です。

飲み忘れないように注意してください。

また、飲み忘れた場合は、主治医又は薬剤師にご相談ください。

飲むのを勝手にやめないでください。

インチュニブ®を飲むのを急にやめてしまうと、一時的に血圧が上がったり、脈拍数が増加したりすることがあり、海外においては高血圧性脳症(急激な血圧上昇で頭痛、吐き気、けいれんなどが生じること)に至った例が報告されています。



インチュニブ®の錠剤は、割ったり、砕いたり、すりつぶしたりせず、そのままかまわずに、お水やぬるま湯で飲んでください。



他にも飲んでいるお薬があれば、主治医又は薬剤師にお伝えください。

お薬の効果が変わったり、副作用が出る可能性があります。



武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号  
くすり相談室 TEL 0120-566-587

# インチュニブ®の注意すべき副作用

18歳以上の方は、インチュニブ®の投与開始時や用量調節時に、**血圧低下**や**眠気**に関する副作用（多くは軽度又は中等度）があらわれやすい可能性があるものの、投与を継続する中で軽減あるいは消失する場合があります。

このような症状があらわれた場合でも自己判断で服薬を中止せずに、主治医に相談してください。主治医の判断により、増量せずにしばらく様子をみたり、減量したりするなどの対応が行われることがあります。



## 血圧、脈拍数のこと

**血圧低下／低血圧**（血圧が下がる）、**徐脈**（脈拍数が減少する）があらわれる可能性があります。

### 対策・注意点

- インチュニブ®を飲み始める前と飲んでいる間は定期的に、血圧や脈拍数の測定が行われます。
- 脱水状態になると血圧が低下する可能性がありますので、脱水にならないよう、水分を十分にとってください。
- 脱水の症状（のどの渇き、ぼーっとする など）があらわれた時は、経口補水液で水分と電解質を補給するなどの処置をとってください。
- インチュニブ®の投与と開始時や用量調節時に、血圧低下に関する副作用があらわれやすいことが、国内の臨床試験で報告されています。
- インチュニブ®を**飲むのを急にやめてしまうと、一時的に血圧が上がったり、脈拍数が増加したりすることがあり**、海外においては高血圧性脳症（急激な血圧上昇で頭痛、吐き気、けいれんなどが生じること）に至った例が報告されています。

## 失神のこと

**気分が悪くなる、視野がぼやけるなどの症状や、失神**（気を失う）があらわれる可能性があります。

### 対策・注意点

- 気分が悪くなる、視野がぼやけるなどの症状や、失神があらわれた場合は、しばらく安静にいただき、すぐに主治医にご相談ください。

## 眠気のこと

**眠くなる、体がだるい／ぼーっとするなどの症状**があらわれる可能性があります。

### 対策・注意点

- インチュニブ®を飲んでいる時は、自動車の運転など、危険を伴う機械の操作には従事しないでください。

上記以外にも、いつもと違う様子がみられたら、すぐに主治医又は薬剤師にご相談ください。



製造販売元

**武田薬品工業株式会社**

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号

【文献請求先及び問い合わせ先】

武田薬品工業株式会社 くすり相談室

フリーダイヤル 0120-566-587

受付時間 9:00～17:30 (土日祝日・弊社休業日を除く)